

## ラグビー専門部 普及への取り組み

ラグビー専門部 埼玉県立大宮高等学校 塩原克幸

### ○ラグビーフットボールについて

基本は 1 チーム 15 名

2016 年夏季オリンピックリオデジャネイロ大会から 7 人制のラグビーが正式採用

国体の成年男子は 2014 年から 7 人制に移行

高校でも昨年度から 7 人制の全国大会が開催されている。

2019 年には日本でワールドカップが開催され、熊谷市も会場に決定している。

ゲームがスピーディーであり、1 チーム 7 名なので、部員が少ない学校（チーム）でも単独チームとして参加可能になる。

### ○ラグビー専門部について

チーム登録 82（平成 3 年度） → 53（平成 27 年度）

部員数 3,167 名（平成 3 年度） → 1,482 名（平成 26 年度高体連会報より）

### ○ラグビーの普及活動について

「東部地区ラグビー交流会」の開催

#### 主旨

年齢の異なる人間とともにプレーすることで子供たち・学生たちに日常と違う刺激を与え、東部地区におけるラグビーの普及と発展に繋げていくことが目的である。「埼玉県の東部地区で初めて楕円球に触れた子供たちが中学生となってもスクールでラグビーを続け、それぞれが地域の高校、大学に進学してしのぎを削る」という流れを念頭に置いて本交流会を実施する。

今年度は、「裾野拡大」と「楕円球への橋渡し」がテーマとし、特に低年齢者がラグビーの楽しみを実感できるようにする。（第 4 回）

第 2 回のテーマは「年齢の異なる選手との交流によるラグビーの普及と発展」

第 3 回のテーマは「年齢の近いカテゴリー間の橋渡し」と「楕円球への橋渡し」

#### 主催

埼玉県ラグビーフットボール協会

#### 期日

毎年 3 月末

#### 会場

第 2 回・第 3 回：獨協大学（人工芝グラウンド）

第 4 回：昌平高校（人工芝グラウンド）

## 内容

1. 未経験者とスクール & マネージャー・高校・大学選手 (10:00~11:30)  
ジャパンタッチ協会から講師数名を派遣して頂き、タッチラグビー体験教室。
2. スクール高学年 と 高校生 (11:30~12:30)  
高校生がリードして日ごろ行っている練習を体験させる。
3. 参加チーム紹介 (12:30~12:45)  
スクールから大学まで、代表者にファーストジャージを着て集まってもらう。チームの特色・こだわり等交えて自己紹介。
4. マッチ (13:00~16:00)  
高校のマッチ。ファーストジャージ着用を依頼(参加者に見てもらうため)。今年度は、1つのチームが出場する時間帯を固定して待ち時間を少なくする。

## 事後アンケート(第2回・第3回をまとめて)

### ○良かった点

- ・小中学生にとって良い交流となった。
- ・良い環境(グラウンド)での開催ができた。
- ・参加チーム紹介が良かった。(高校生はファーストジャージを着用)
- ・タッチラグビーが盛り上がった。
- ・女子マネージャーのタッチフット
- ・高校の教員による子ども(小学生)への指導が良かった。
- ・大学生との交流もあって良かった。
- ・チャリティーストアの出店(第4回)

### ▲課題となる点

- ・スケジュールが予定時刻通りに進まない。
- ・指導者同士の交流をもっとしたい。
- ・未経験者へのメニューの工夫
- ・開催時期(3月末だとスクールは集まりにくい)

## 専門部としての今後の課題

- ・他地区での開催(高校単位で中学生との交流などを行っている所もある)
- ・強化と普及の相乗効果
- ・トップリーグとの交流(各地区での開催は行っている)
- ・広報活動(県協会のホームページの活用)  
など